

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-56669(P2004-56669A)
 【公開日】平成16年2月19日(2004.2.19)
 【年通号数】公開・登録公報2004-007
 【出願番号】特願2002-214332(P2002-214332)
 【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 5/76
 G 1 1 B 15/02
 G 1 1 B 20/10
 G 1 1 B 27/034
 G 1 1 B 31/00

【F I】

H 0 4 N 5/76 Z
 G 1 1 B 15/02 3 2 8 S
 G 1 1 B 20/10 3 1 1
 G 1 1 B 31/00 5 4 1 F
 G 1 1 B 31/00 5 4 1 N
 G 1 1 B 31/00 5 8 1 D
 G 1 1 B 27/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月8日(2005.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

信号を記録する記録手段と、
 上記信号から特徴量を抽出する特徴抽出手段と、
 所望の信号を上記記録手段に記録する際の記録開始時刻及び記録終了時刻を設定する時刻設定手段と、
 予め設定された比較対象信号の特徴量と記録中の上記所望の信号から上記特徴抽出手段によって抽出される特徴量との一致を検出する一致検出手段と、
 上記一致検出手段の検出結果に応じて、上記記録終了時刻を修正する時刻修正手段とを備えることを特徴とする信号記録装置。

【請求項2】

上記比較対象信号の一部区間における特徴量を登録する登録手段を備え、
 上記一致検出手段は、上記登録手段によって登録された上記一部区間における特徴量と記録中の上記所望の信号から抽出される特徴量との一致を検出することを特徴とする請求項1記載の信号記録装置。

【請求項3】

上記比較対象信号の特徴量が予め上記記録手段に記録されており、当該比較対象信号の一部区間における特徴量が記録されている記録位置を示す情報を登録する登録手段を備え、
 上記一致検出手段は、上記記録位置を示す情報で示される上記一部区間における特徴量

と記録中の上記所望の信号から抽出される特徴量との一致を検出すること
を特徴とする請求項 1 記載の信号記録装置。

【請求項 4】

上記時刻修正手段は、上記一致検出手段によって一致が検出された時刻と上記記録開始時刻との時間差を求め、当該時間差に応じて上記記録終了時刻を修正すること
を特徴とする請求項 1 記載の信号記録装置。

【請求項 5】

上記時刻修正手段は、所定の許容時間を設定し、上記時間差が上記許容時間以内であれば修正を行わず、上記許容時間を越えていれば上記時間差に応じて上記記録終了時刻を修正すること
を特徴とする請求項 4 記載の信号記録装置。

【請求項 6】

上記所望の信号内におけるコマーシャルメッセージを検出するコマーシャルメッセージ検出手段を備え、
上記時刻修正手段は、上記一致検出手段の検出結果と上記コマーシャルメッセージ検出手段の検出結果とに基づいて、上記記録終了時刻を修正すること
を特徴とする請求項 1 記載の信号記録装置。

【請求項 7】

上記時刻修正手段は、上記一致検出手段によって一致が検出された時刻の直前にあたるコマーシャルメッセージの終了時刻と上記記録開始時刻との時間差を求め、当該時間差に応じて上記記録終了時刻を修正すること
を特徴とする請求項 6 記載の信号記録装置。

【請求項 8】

上記時刻修正手段は、所定の許容時間を設定し、上記時間差が上記許容時間以内であれば修正を行わず、上記許容時間を越えていれば上記時間差に応じて上記記録終了時刻を修正すること
を特徴とする請求項 7 記載の信号記録装置。

【請求項 9】

所望の信号を記録手段に記録する際の記録開始時刻及び記録終了時刻を設定する時刻設定工程と、
上記所望の信号から特徴量を抽出する特徴抽出工程と、
予め設定された比較対象信号の特徴量と記録中の上記所望の信号から上記特徴抽出工程にて抽出される特徴量との一致を検出する一致検出工程と、
上記一致検出工程における検出結果に応じて、上記記録終了時刻を修正する時刻修正工程と
を有することを特徴とする信号記録方法。

【請求項 10】

上記比較対象信号の一部区間における特徴量を登録する登録工程を有し、
上記一致検出工程では、上記登録工程にて登録された上記一部区間における特徴量と記録中の上記所望の信号から抽出される特徴量との一致が検出されること
を特徴とする請求項 9 記載の信号記録方法。

【請求項 11】

上記時刻修正工程では、上記一致検出工程にて一致が検出された時刻と上記記録開始時刻との時間差が求められ、当該時間差に応じて上記記録終了時刻が修正されること
を特徴とする請求項 9 記載の信号記録方法。

【請求項 12】

上記所望の信号内におけるコマーシャルメッセージを検出するコマーシャルメッセージ検出工程を有し、
上記時刻修正工程では、上記一致検出工程における検出結果と上記コマーシャルメッセージ検出工程における検出結果とに基づいて、上記記録終了時刻が修正されること

を特徴とする請求項 9 記載の信号記録方法。

【請求項 1 3】

上記時刻修正工程では、上記一致検出工程にて一致が検出された時刻の直前にあたるコマンドメッセージの終了時刻と上記記録開始時刻との時間差が求められ、当該時間差に応じて上記記録終了時刻が修正されること

を特徴とする請求項 1 2 記載の信号記録方法。

【請求項 1 4】

所定の処理をコンピュータに実行させるプログラムにおいて、

所望の信号を記録手段に記録する際の記録開始時刻及び記録終了時刻を設定する時刻設定工程と、

上記所望の信号から特徴量を抽出する特徴抽出工程と、

予め設定された比較対象信号の特徴量と記録中の上記所望の信号から上記特徴抽出工程にて抽出される特徴量との一致を検出する一致検出工程と、

上記一致検出工程における検出結果に応じて、上記記録終了時刻を修正する時刻修正工程と

を有することを特徴とするプログラム。

【請求項 1 5】

所定の処理をコンピュータに実行させるプログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

所望の信号を記録手段に記録する際の記録開始時刻及び記録終了時刻を設定する時刻設定工程と、

上記所望の信号から特徴量を抽出する特徴抽出工程と、

予め設定された比較対象信号の特徴量と記録中の上記所望の信号から上記特徴抽出工程にて抽出される特徴量との一致を検出する一致検出工程と、

上記一致検出工程における検出結果に応じて、上記記録終了時刻を修正する時刻修正工程と

を有することを特徴とするプログラムが記録された記録媒体。